

大規模災害支援協力連絡会（大隅ブロック）議事録

場 所：大隅地域振興局

期 日：令和5年5月16日（火） 9：30～

参加者：大隅地域振興局

小濱建設部長、栗野土木建築課長、小原河川港湾課長、城下技術補佐

大内田技術補佐兼道路維持第一係長、本後技術補佐、中園技術主幹兼道路維持第二係長

平屋技術主幹兼河川砂防第一係長、笠井技術主幹兼河川砂防第二係長、町田技術主幹兼港湾漁港係長、

久保技術調整係長、末留土木技師、黒木参事、平田技術主幹、恒吉技術主幹

大園参事、新澤技術主幹

測量設計業協会

上野副会長

連絡責任者（正）大福コンサルタント 福田、園田

連絡責任者（副）錦城 岩満、早崎

連絡責任者（副）コバルト技建 山下

丸建技術、池田コンサルタント、コスモコンサルタンツ

サタコンサルタンツ、大翔

地質調査業協会 6社

議事録

1. 挨拶

あいさつ。（小濱建設部長、上野副会長）

2. 連絡会内容

(1) 協定内容確認及び連絡体制について（県）

- ・協定内容確認及び令和5年度建設部連絡体制の説明。（久保技術調整係長）

(2) 測量設計業協会資料について（協会）

- ・支援協力の内容説明。（福田副会長）

3. 意見交換

- ・農林水産部及び市町村とも協定を結んでいるのか。（栗野土木建築課長）

・農林水産部とは結んでいない。また、市町村については、鹿児島市のみ結んでいる。（上野副会長）

- ・大規模災害において、建設部管轄のみではなく農林水産部及び市町村でも災害は発生していると思うが、協定を結んでいる建設部が優先されるのか。（栗野土木建築課長）

・協定を結んでいるので、建設部の初動が速くなるので、おのずと優先的になる。また、市町村については各社への要請はあるようだが、協会では把握していない。（上野副会長）

- ・職員減少もあり、各協会の協力（マンパワー）が必要である。（栗野土木建築課長）

・北薩地域の大規模災害時、さつま町より災害協力の要請があったが、各社が手一杯であった。その際、県外業者の協力もあった。（上野副会長）

- ・支援要請時は、協会に連絡するのか。または、連絡責任者に連絡するのか。（小原河川港湾課長）

・まずは、協会への連絡をお願いします。両方への連絡があった場合、同じ災害要請なのか混乱するため。（上野副会長）

・ブロック対応の体制であるが、災害規模により人員不足も懸念さる。その際の対応をお願いしたい。（黒木参事）

- ・他県との協力体制も進めている。（上野副会長）

・他県については、協会からの要請となるのか。（栗野土木建築課長）

・その方向で考えているが、まだ話を詰めていかなければならない（上野副会長）

・被災後の初動調査について、雨等が続き現地に入れない場合もある。その際の時間的猶予を検討してほしい。（上野副会長）

- ・地元業者、協会員の最大限利用をお願いします。（岩満理事）

・過年度調査後のアンケートにおいて、必要箇所を示してほしいとの要望があった。（上野副会長）



